

市民がエネルギーを創る時代「自然エネルギー学校・せんしゅう」

エネルギーを市民・地域に！ 市民・地域共同発電所



福島県農民連と協力して 2013 年に完成した「福島りょうぜん市民共同発電所(50kW)」

2011 年 3 月の東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故のあと、再生可能エネルギーへの関心が高まり、2012 年 7 月に再生可能エネルギー固定価格買取制度が施行され、市民・地域が主体となった再生可能エネルギーの利用普及が急速にすすんでいます。

地域・市民共同発電所全国フォーラム実行委員会が 2013 年 9 月に行った全国調査では、115 団体によって 458 の市民・地域共同発電所が設置され、設備規模は 5 万 kW を超えています。

「自然エネルギー学校・せんしゅう」では、泉州地域での市民共同発電所の可能性をみなさんとともに考えてみたいと思います。

- ◆ 全 4 回の講座と課外講座 1 回 **詳しくは裏面をご覧ください。**
- ◆ どなたでも参加できます、ひとつの講座だけの参加も可能です。
- ◆ 受講料：無料
- ◆ 参加申込：必要(定員 100 名)

主催：NPO 法人自然エネルギー市民共同発電

共催：自然エネルギー市民の会、NPO 法人地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)

問合せ先 〒540-0026 大阪府中央区内本町 2-1-19-470

電話 06-6910-6301 FAX 06-6910-6302 E-mail wind@parep.org

この講座は、環境省の「平成 26 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における草の根活動支援事業)」の補助金にて開催します。

市民がエネルギーを創る時代「自然エネルギー学校・せんしゅう」

第1回「地域・市民がすすめる自然エネルギー普及でまちづくり」

◇日時 10月18日(土) 午後1時30分～4時30分

◇内容 報告「再生可能エネルギーが拓く未来～市民共同発電所が果たす役割～」

和田武(自然エネルギー市民の会代表、元立命館大学教授)

報告「市民がつくる太陽光発電所の事例①」

豊田陽介(自然エネルギー市民の会運営委員、気候ネットワーク)

第2回「広がるおひさま発電所、みんなが参加できる市民共同発電所」

◇日時 11月9日(日) 午後1時30分～4時30分

◇内容 報告「地球温暖化の現状、残された時間は30年足らず」

早川光俊(弁護士、NPO 市民共同発電専務理事、CASA 専務理事)

報告「市民がつくる太陽光市民・地域共同発電所」

林敏秋さん(株式会社エコテック代表取締役)

報告「市民が作る市民共同発電所の事例②」自然エネルギー市民の会

◇場所：テクスピア大阪第4研修室(第1回、2回とも)



○南海本線「難波駅」から「泉大津駅」まで急行で約20分

○南海本線「和歌山駅」から「泉大津駅」まで急行で約40分

○「泉大津駅」からテクスピア大阪までは徒歩3分

◇第3回は 12月6日(土)、第4回は1月10日を予定しています。

また、市民と行政が協働した市民共同発電所の先進事例を見学・交流する課外講座を1月に予定しています。課外講座は交通費等の自己負担をお願いします。

【参加申込書】

氏 名		☐ 第1回参加 ☐ 第2回参加
住 所	〒	
電話番号		
E-Mail		

FAX 06-6910-6302 (NPO 自然エネルギー市民共同発電行)

または E-mail wind@parep.org に上記事項を記入のうえ、送信してください。